

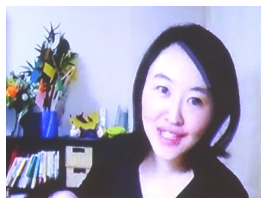
### 3 いじめ防止対策について

学校では、毎年いじめに関する資料・アンケート結果を活用した分析を進めるとともに、研修を併せて行い、時期に応じて生徒・保護者との面談を行っています。また、真下委員の御協力で弁護士による授業を毎年行うなど、いじめをしない・させないという意識を高める取組を続けています。そして、学校運営協議会では、毎回いじめ防止対策について取り上げ、学校・家庭・地域との連携を含めた話し合いを行っています。そこでは、真下委員から法的な観点から助言・指導を受け、3者で取り組めることについて話し合い、いじめ防止へ向けて共通理解・共通認識を図っています。

今回の話し合いの中で、真下先生より、「鴨志田中学校は積極的にいじめを認知して、生徒と先生が協力して対処している。いじめ



はないという方向にしがちの学校が多い中、素晴らしいと思う。」とお言葉をいただきました。職員からも、「いじめはよくないこと」、「何とかしなければならない」と感じている生徒が多いことから、いじめ防止授業の成果が表れているのを感じるという意見もありました。今後も継続して、一人ひとりが安心できる環境づくりに励んでいきます。御家庭からも気づいたことがありましたら、いつでも御相談ください。



また、神奈川県警青葉警察署から、ネットのトラブルに関する授業をしていただいたことも報告いたしました。何気ないこともいじめや犯罪につながるという話も生徒に響いた様子です。御家庭でもこの機会にネットやSNSなどについて話題にしてみてください。



## その他

委員の皆様からは、「You Tubeを楽しく見ることができた。コロナ禍でも生徒の頑張る姿が見られて安心した。」「一生懸命に取り組む姿に励まされた。」「ここまで無事に過ごせて何より。卒業式も無事に行えることを願っている。」とお話いただきました。戸塚会長からは、中里北部連合の「気づきの和」の活動に区の助成金をいただき、シンボルマークを横浜美術大学デザイン科の生徒に作成を依頼しており、後日、中学校にも披露したいとお知らせいただきました。また、真下先生は『「幸せ」な学校の作り方』（教育開発研究所）という本を出版されるそうです。本校でも参考にさせていただきます。

## おわりに



会の最後に、高野澤副会長よりお話をいただきました。「Zoomでのミーティングは前回よりもスムーズにできた。」「PTAも来年度に向けて役員が決まり、PTA会長については、来年度は代表制を取り入れていく。」「規約改正により、会長を立てることも、代表制をとることもできるようにし、より良い活動の在り方を模索していきたい。」というお話がありました。

KAMONEWSとして学校運営協議会の様子をお知らせしています!

横浜市立鴨志田中学校

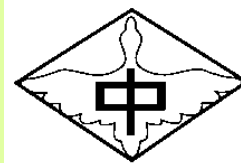
〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町536

電話: 045(961)3771

FAX: 045(961)1495

通級指導教室 045(961)8727

心の相談室[スクールカウンセラー] 045(961)3910 ※主に木曜日来室



## 令和2年度 第3回 学校運営協議会が行われました



年が明けて令和3年を迎え、今年度3回目の学校運営協議会を1月19日(火)にZoomオンラインで行いました。委員の皆様全員がオンラインでつながり、Zoomでのつながり方もスムーズになりました。真下先生も無事出産を終えてお子様を抱きながら御参加くださいました。今回の会議では、教育活動の報告と予定、いじめ防止基本方針、そして学校評価アンケート結果について取り上げ

ました。学校運営協議会の皆様からいただいた御意見を踏まえながら、次年度に向けて学校経営計画の見直しを行い、具体的な手立てを考えていきます。

## はじめに



戸塚会長より、新年のあいさつの後、「2回目の緊急事態宣言が発令され、より厳しいことを求められる時代になりましたが、そんな状態でも鴨志田中学校は、その中でできることを模索して子供たちに色々なチャンスがなくならないように工夫して、やれることを行っています。そのようにして、子供たちの将来に向けての環境を整えるよう尽力していることに感謝しています。学校運営協議会として、委員各々がどのようにフォローができるかをしっかりと考えながら、残りの2カ月ほどを先生方と一緒に支援していきたい。」とお話をい



いただきました。続いて濱崎校長からは、「全国高校ラグビーで神奈川県代表の桐蔭学園が全国制覇しました。鴨志田中学校も、このコロナ禍を『ONE TEAM』で頑張っていきたい。」「学校では You Tube 配信に取り組みました。1月31日までの限定配信となります。ぜひお時間あるときにご覧いただきたい。」「配信に当たり、情報担当のおかげで配信にこぎつけることができました。個人情報の取り扱いや著作権など難しい部分があり、時間がかかりました。今後も、著作権の法令だけでなく、人権や個人情報等に気を付けながら取り組んでいきたい。」等の話がありました。

### 令和2年度 鴨志田中学校学校運営協議会委員

- 会長 戸塚 昌行 (鴨志田町内会長)
- 副会長 高野澤明美 (鴨志田中学校PTA会長)
- 委員 奥田 妙子 (中里北部連合町内会長)
- 委員 福島由香子 (地域コーディネーター)
- 委員 富川 貴子 (主任児童委員)
- 委員 照井 仁 (鴨志田地域ケアプラザ所長)
- 委員 真下麻里子 (宮本国際法律事務所弁護士)
- 委員 濱崎 利司 (鴨志田中学校校長)
- 事務局 高沢 忠弘 (鴨志田中学校副校長)
- 事務局 近藤 幸男 (鴨志田中学校主幹教諭・通級主任)
- 事務局 近藤 啓太 (鴨志田中学校主幹教諭・教務主任)
- 事務局 高田 悟 (鴨志田中学校教諭・3学年主任)
- 事務局 米川 久子 (鴨志田中学校教諭・2学年主任)
- 事務局 石川祐美子 (鴨志田中学校教諭・1学年主任)
- 事務局 長谷川 満 (鴨志田中学校教諭・生徒指導専任) ※敬称略

## 学校運営協議会とは

「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数を増し、令和2年10月には横浜市内公立学校509校のうち262校に設置されています。横浜市では令和4年度末までに全校設置予定です。

本協議会では、今年度も子どもたちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めております。また、この協議会に「いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。



学校教育目標

「感動を分かち合おう」  
「目標を高く掲げよう」  
「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



稲作伝授式

本校では、稲作実行委員会を中心に教育活動協力者の木村さんに毎年アドバイスをいただきながら、「寺家の谷戸田」で米作りに取り組んでいます。



除草

ぬかるんだ田んぼの中で、苗の間の雑草をていねいに除草しました。



稲刈り

どのくらい収穫できるか、わくわく稲かりをしました。今年は豊作かな！

話合いでは…

1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事实施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

稲作活動

令和2年度もNPO法人「農に学ぶ環境教育ネットワーク」木村先生の御指導のもと、実行委員18名と参加ボランティアの生徒で鴨志田米を作りました。

コロナ関連で7月10日の除草からの作業開始となりましたが、7月の長雨を何とか乗り切り、寺家の水、土、日光のみで栽培した完全無農薬・無肥料のお米作りに取り組んできました。収穫祭では、会議室から校内TV放送にて、実行委員1人1人が自ら体感したことや、深く学んだことを、自分の言葉で振り返りました。その後各教室にて、新米1合を全員に配布させて頂きました。1年間、御協力ありがとうございました。

運営協議会委員の皆様には、今年度も活動内容と今後の方向性について御理解をいただき、これからより一層各方



脱穀

稲刈り後乾燥させた稲の穂先から籾を落とす作業を機械で行いました。

面のみなさんの御理解と御協力を得ながら、本校の特色ある教育活動の一つとして、この稲作活動を今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。

活動スケジュール

種まき、代掻き、田植え作業はコロナ対応で中止

- 7月16日 稲作伝授式
- 7月10日 除草
- 10月29日 稲刈り
- 11月19日 脱穀
- 12月7日 米つめ
- 12月11日 収穫祭



収穫祭

木村さん御指導のもと、7月の長雨の夏を乗り切り、寺家の光、土、水のみで栽培した完全無農薬・無肥料のお米が収穫できました。

体育大会

1月5日に令和2年度体育大会が行われました。コロナ禍で体育大会の開催自体が危ぶまれましたが3密にならないよう工夫を凝らし、例年とは違う秋開催、生徒のみの参加、平日半日開催という形で実施しました。



『熱気で渦を巻き起こせ～Let's鴨中SOUL～』というスローガンのもと、各学年熱気のコもった体育祭となりました。



ムカデ種目の代わりに行われた玉入れでは、各学年の体育大会実行委員が種目を考え、参加している生徒も観

ている生徒も楽しめるものとなりました。密を避け、前後半クラス半分ずつの人数で行われた大縄も134回という大記録を残しました。今年度初めてのクラス全体での活動となりましたが、今回の体育大会で培った団結力や経験を今後活かしてほしいと思ひます。



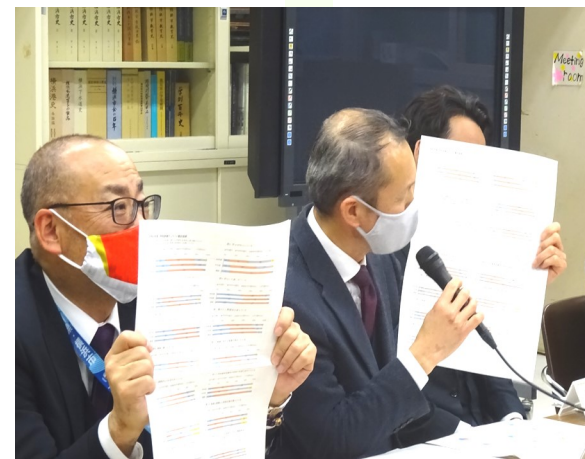
※冬休み12/28から1/31までYou Tube（鴨Tube）で限定配信をさせていただきました。



2 学校評価アンケート結果報告について

保護者の皆様からいただいた『学校評価アンケート』の集約結果と、生徒に行った授業評価の集約結果から報告しました。現在、このアンケート結果をもとに教育活動を振り返っている途中です。今年度は、昨年度より保護者のアンケートの回答数も多く、学校に対する関心や期待が高かったことが伺えました。

ICT機器活用に関するアンケート結果についても一部を報告いたしました。生徒を対象に行った授業評価の結果の中で、「教科の授業でICT機器を活用し学習内容の理解を深めるのに役立てられているか？」という項目では、一番割合の低い教科でも「当てはまる」・「少し当てはまる」が72%以上で平均すると86%の生徒が、ICT機器の活用が進んでいると感じていることがわかりました。しかし、保護者の視点では異なる結果が見られ、ICT機器の活用に関しては、リモートでのオンライン双方向



授業を期待していたという意見が出ていました。学校からの情報をしっかりと発信して行く必要性と、オンライン授業がこれからは必須課題であることをより意識しなければならないと感じました。

アンケートの質問内容については、『中期学校経営方針』（学校HPでも御覧いただけます）の内容を受ける形で項目分

けをしています。そして、毎年見直しをしながら、経年変化も見たいようにし、さらに学校・家庭でできるだけ質問内容を同じくしてその捉え方の相違についても見ていけるように工夫しています。相違がある集計結果については特に着目していきます。この結果を受けて委員の皆様からいただいた御意見・御感想を踏まえて校内で結果分析を

進め、来年度の学校運営改善の手立てについて考えていきます。その手立てについては、3月に行われる今年度最後の学校運営協議会で提示し、来年度学校運営の方向性について確認をします。